

胃・大腸がん検診の実施体制

胃がん、大腸がん検診 市町村チェックリスト実施率

市町村チェックリスト実施率とは

がん検診の実施主体である市町村が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

令和2年度 市町村チェックリスト実施率

		胃X	胃内	大腸
問1. 検診対象者の情報管理 (4項目)	集団	60%	43%	60%
	個別	66%	64%	65%
問2. 受診者の情報管理 (2項目、胃内は1項目)	集団	90%	86%	88%
	個別	82%	82%	82%
問3. 受診者及び要精検者への説明 (3項目)	集団	46%	43%	46%
	個別	24%	15%	22%
問4. 精検結果の把握、 精検未受診者の特定と受診勧奨 (6項目、胃内は5項目)	集団	81%	71%	81%
	個別	59%	45%	59%
問5. 地域保健・健康増進事業報告 (5項目)	集団	92%	83%	92%
	個別	88%	85%	88%
問6. 検診機関の質の担保 (7項目)	集団	30%	33%	32%
	個別	13%	9%	15%

		胃X	胃内	大腸
問7. 受診率の集計 (4項目)	集団	83%	100%	83%
	個別	78%	78%	78%
問9. 要精検率の集計 (4項目)	集団	81%	86%	81%
	個別	75%	75%	73%
問10. 精検受診率・未受診率の集計 (5項目)	集団	80%	86%	80%
	個別	71%	74%	71%
問11. がん発見率の集計 (4項目)	集団	74%	100%	74%
	個別	66%	73%	66%
問12. 陽性反応適中度の集計 (4項目)	集団	44%	32%	44%
	個別	47%	45%	47%
問13. 早期がん割合の集計 (4項目)	集団	58%	43%	58%
	個別	52%	38%	52%
問14. 粘膜内がん、非浸潤がんの集計 (1項目)	集団	56%	43%	56%
	個別	56%	40%	56%

注 赤字は実施率が60%以下

令和2年度 市町村チェックリスト実施率（特に実施率が低い項目）

		胃X	胃内	大腸
問1. 検診対象者の情報管理	集団	60%	43%	60%
	個別	66%	64%	65%
問1-1.対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか	集団	23/26	4/7	23/26
	個別	17/17	10/11	16/17
問1-2.対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか	集団	14/26	2/7	14/26
	個別	11/17	7/11	11/17
問1-2-1.受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行ったか	集団	1/26	0/7	1/26
	個別	1/17	1/11	1/17

		胃X	胃内	大腸
問3. 受診者及び要精検者への説明	集団	46%	43%	46%
	個別	24%	15%	22%
問3-1.受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配	集団	22/26	5/7	22/26
	個別	11/17	4/11	10/17
問3-2.要精検者全員に対し、受診可能な精検機関名の一覧を提示したか	集団	9/26	3/7	9/26
	個別	0/17	0/11	0/17
問3-2-1.上記一覧に掲載したすべての精検機関には、あらかじめ精検結果の報告を依頼したか	集団	5/26	1/7	5/26
	個別	1/17	1/11	1/17

		胃X	胃内	大腸
問4. 精検結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨	集団	81%	71%	81%
	個別	59%	45%	59%
問4-1.精検方法及び、精検結果を把握したか	集団	23/26	6/7	23/26
	個別	12/17	6/11	12/17
問4-2.精検方法及び、精検結果が不明の者については、本人もしくは精検機関への照会等により、結果を確認したか	集団	20/26	5/7	20/26
	個別	11/17	5/11	11/17
問4-3.個人毎の精検方法及び、精検結果を、市区町村、検診機関、精検機関が共有したか	集団	22/26	4/7	22/26
	個別	10/17	5/11	10/17
問4-4.過去5年間の精検方法及び、精検結果を記録しているか	集団	20/26	/	20/26
	個別	8/17		8/17
問4-5.精検未受診と精検結果未把握を定義に従って区別し、精検未受診者を特定したか	集団	22/26	5/7	22/26
	個別	11/17	6/11	11/17
問4-6.精検未受診者に精検の受診勧奨を行ったか	集団	19/26	5/7	19/26
	個別	8/17	3/11	8/17

		胃X	胃内	大腸
問6. 検診機関の質の担保	集団	30%	33%	32%
	個別	13%	9%	15%
問6-1.委託先検診機関を、仕様書の内容に基づいて選定したか	集団	20/26	6/7	21/26
	個別	8/17	3/11	8/17
問6-1-1.仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか	集団	17/26	6/7	18/26
	個別	5/17	2/11	6/17
問6-1-2.検診終了後に、委託先検診機関で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認したか	集団	12/26	2/7	13/26
	個別	3/17	2/11	4/17
問6-2.検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしたか	集団	2/26	1/7	2/26
	個別	0/17	0/11	0/17
問6-2-1.「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか	集団	2/26	1/7	2/26
	個別	0/17	0/11	0/17
問6-2-2.検診機関毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか	集団	1/26	0/7	1/26
	個別	0/17	0/11	0/17
問6-2-3.上記の結果をふまえて、課題のある検診機関に改善策をフィードバックしたか	集団	1/26	0/7	1/26
	個別	0/17	0/11	0/17

問12. 陽性反応適中度の集計	集団	44%	32%	44%
	個別	47%	45%	47%

問13. 早期がん割合の集計	集団	58%	43%	58%
	個別	52%	38%	52%

問14. 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	集団	56%	43%	56%
	個別	56%	40%	56%

注 赤字は実施率が60%以下

胃がん、大腸がん検診 検診機関チェックリスト実施率

検診機関チェックリスト実施率とは

市町村が行うがん検診を受託する検診機関において、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

1 胃がん検診

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 胃がん検診（エックス線・内視鏡）

回答状況：25検診機関

1. 受診者への説明 (6項目)	89%
2. 問診、胃部エックス線撮影、胃内視鏡検査の精度管理 (10項目)	86%
3. 胃部エックス線読影の精度管理 (5項目)	93%
4. 胃内視鏡画像の読影の精度管理 (5項目)	81%
5. システムとしての精度管理 (6項目)	84%

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 胃がん検診（エックス線・内視鏡）

【実施率が70%以下である項目の実施状況】

2. 問診、胃部エックス線撮影、胃内視鏡検査の精度管理		
(8)胃部エックス線撮影に携わる技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得しているか（撮影技師が不在で医師が撮影している場合は除く）	14/24	58%
(10)胃内視鏡検査の機器や検査医等の条件は、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアルを参考にし、仕様書に明記しているか	16/25	64%

4. 胃内視鏡画像の読影の精度管理		
(2)胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により、ダブルチェックを行っているか	12/21	57%
(3)読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医、日本消化器内視鏡学会専門医のいずれかの資格を取得しているか	12/21	57%

5. システムとしての精度管理		
(4)撮影や読影向上のための検討会や委員会（自施設以外の胃がん専門家を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか	13/25	52%

○ 内視鏡検査について、二重読影体制及び専門医の確保、読影技術向上の機会が不足

県としても現状把握に努めるため、県内医療機関に対して専門医の配置状況等を調査する予定

2 大腸がん検診

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 大腸がん検診

回答状況:27検診機関

1. 受診者への説明 (6項目)	90%
2. 検査の精度管理 (2項目)	93%
3. 検体の取り扱い (3項目)	93%
4. システムとしての精度管理 (5項目)	84%

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 大腸がん検診

【 実施率が80%以下である項目の実施状況 】

2. 検査の精度管理		
(2)便潜血検査キットのキット名、測定方法（用手法もしくは自動分析装置法）、カットオフ値（定性法の場合は検出感度）を仕様書にすべて明記しているか	21/27	78%

4. システムとしての精度管理		
(1)受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、検体回収後2週間以内になされているか	19/27	70%
(4)自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しているか	21/27	78%